

山ぶどう加工品（ワイン）の新商品開発等により所得アップ

【令和2年度補正】

ワイン体験をもっと身近に（手に取りやすい新商品を開発した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

調査・検討・実践

【地区名】 野田村地区（岩手県野田村）

- 【現況】
- ・地域特産品の山ぶどうは高品質にも関わらず、十分な利益が得られておらず、産地の維持に懸念。
 - ・マーケティングやブランド構築により、販路拡大が必要。



① 新商品の開発

気軽に山ぶどうワインを手にとれるよう、ハーフボトルワインを開発し販売を実施



① 新商品のハーフボトルワイン

② 山ぶどうの認知度向上

首都圏のマルシェへの出品を通じて、新たな顧客層の開拓



② マルシェへの出店

③ 販路拡大のための取組

岩手県産食材を使った料理の試食会に合わせて山ぶどうワインの商談会を開催



③ 試食会の様子

取組の成果

令和6年度の山ぶどう加工品（ワイン）の販売額は13,540千円となっており、現況値の11,273千円から販売額が大幅に増加（約20%増）している。

現況値(R2)	目標値(R6)	実績値(R6)
11,273千円	12,400千円	13,540千円